

Windows XP の IE8 代替ブラウザ

以前「お役立ち」に「Windows XP サポート終了に伴う自動更新トラブル回避策」をアップしましたが・・・いやー本当に参りました。(XP の) IE8 では YAHOO JAPAN の HP がまともに表示されなくなったし、ここから検索したサイトも「表示不可」が続出。いくら何でもこれはひど過ぎます。

IE8 の「ツール」→「インターネットオプション」→「詳細設定」でセキュリティの「SSL2.0、SSL3.0 を使用する」のチェックを外し、「TLS1.0 を使用する」にのみチェックを入れるという改善策をネット上で見つけましたが、ほとんど効果はありませんでした。

そこで、これもネット上で紹介されていましたが、「MOZILLA(Firefox)」をダウンロードし IE8 の代替品として使ってみました。このブラウザには「昨年で XP 対応のサポートは打ち切った」というお断り書きがありましたが、YAHOO の HP もまともに表示されますし、IE8 での各種設定データも引き継げるし、劇的な改善効果ありました。

ただし、例えば e-Tax、eLTAX (& 「公的個人認証サービス」) では MOZILLA は勿論、IE8 も XP そのものもサポート対象外ですので、Windows7&10 で IE11 を使わなければなりません (Windows10 の Edge は使用不可)。

ただ単に Windows7 で動いていたアプリケーション・プログラムを Windows10 で動かすのであれば「互換モード」を利用するという手はありますが、この場合はダメです。

しかし、とはいえ、殆どのサイトを閲覧出来て情報を取れるという事は MOZILLA を使う大きなメリットです。

そもそも Microsoft (ビル・ゲイツ) が XP のサポートを打ち切った事は反社会的な犯罪行為だと私は考えています (多国籍連合を組んで Microsoft 製品の使用を法的に禁止し、連合で代替ソフトを開発すべきです)。

Microsoft の発表によれば Windows7 の延長サポートは 2020 年 1 月に終了、Windows10 のサポートは 2025 年 10 月に終了します。またまた同じ事を繰り返すのかと思うと心底、ウンザリします。

当方としては、Microsoft の暴虐に屈しない為にも、まずは XP と 7 が混在する無線 LAN システムの中に何とかして Windows10 がプリインストールされた PC を入れ込みたいと工夫します。その後どうするのかは現時点では全く見当もつきませんが。